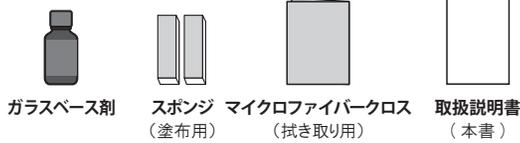


はじめにご確認下さい。

【内容物】



ガラスベース剤 スポンジ (塗布用) マイクロファイバークロス (拭き取り用) 取扱説明書 (本書)

【ご用意いただく物】

ゴム手袋、マスク、保護眼鏡、保護衣、マスキング用テープ

【施工上のご注意】

- ◎白濁やムラが発生する場合がありますので、高温下での施工や温度の高い塗装面への施工は避け、日陰等で施工して下さい。
- ◎雨や風の強い日、湿度の高い日は施工しないで下さい。
- ◎ポリマー加工などを行っている場合は、完全に落としてから施工して下さい。
- ◎施工時に水分が混ざると白濁の原因になります。完全に水分を飛ばしてから施工して下さい。
- ◎白濁やムラなどの異常が生じた場合はすぐに中止して下さい。

【施工不可の箇所について】

◎ガラス、ゴム部分は施工できません。ご注意下さい。

施工方法

【簡単施工】…短時間で仕上げたい方、初めて施工する方などあまり知識・経験の無い方に最適。

【本格施工】…コーティングの知識・経験のある方、より効果を発揮させたい方に最適。

【簡単施工】

① 洗車用シャンプーで脱脂・洗浄・鉄粉取りを行います。

② 水分が無くなるまで拭き上げ、日陰などで完全に乾かします。

③ ガラス面やゴムモール（未塗装面や樹脂部分）などをマスキングします。

④ 必ず塗装面が冷えている事を確認後、付属のスポンジにガラスベースコートを徐々に染み込ませ、垂れない程度に含ませます。フェンダーやドアのパネルごとに縦横直線的に隙間なく塗り込みます。

⑤ すぐにマイクロファイバークロスで余分な液を拭き取るように軽く拭き上げます。

⑥ パネル毎に④～⑤を繰り返し、車全体に施工します。

【本格施工】

①を施工後、コンパウンドで下地処理を行いきれいに洗い流します。

②を施工後、エアブローを行い塗装面に残った水分を完全に除去します。

【注意点】

下地処理を行うと効果がより持続します。

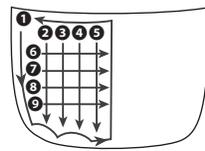
コーティング剤と水分が混ざると白濁の原因になります。水がなかなか除去しにくい部分（ミラーやドアノブの隙間など）にはキッチンペーパーなどを挟んで水分を除去して下さい。

ガラス面やゴムモール（未塗装面や樹脂部分）などにガラスベースコートが付着すると、白濁する場合があります。

塗装面が熱かったり広範囲に塗布すると、白濁やムラが発生する場合があります。一度に作業できる範囲は、気温や湿度などの条件により乾き具合が異なりますので状況に応じて調整して下さい。

ガラスベースコートを塗布後、拭き取るまで、あまり時間をおかないで下さい。

できる限り施工後一日は屋内に保管し、水に濡らさないで下さい。施工後すぐの車の使用は避けて下さい。施工後1ヶ月は洗車を避けて下さい。



必ずご確認下さい。

【取り扱い上のご注意】

- ◎人体に害があるので 飲用及び吸引しないで下さい。
- ◎有機溶媒で可燃性ですので、決して熱源・スパーク及び火気には近づけないで下さい。
- ◎本液を水・アルコールと接触させると可燃ガスが発生しますので、接触を避けて下さい。
- ◎その他溶剤・薬液とも反応し、可燃性ガスが発生する可能性がありますので、混合しないで下さい。
- ◎用途以外には使用しないで下さい。
- ◎開封状態のまま放置すると、空気中の水分と反応し、ゲル化する場合があります。ゲル化しますとゲル化物から局部的に可燃性ガスが発生し発火する可能性があります。使用後は、密栓保管して下さい。
- ◎品質の維持及び安全性確保の観点から、開封した本液は一度に使いきって頂くことをお勧めします。
- ◎取扱作業所には局所排気を設け、発散した蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- ◎皮膚に触れないようにし、保護手袋・保護衣・保護眼鏡・保護面を着用して下さい。
- ◎取扱後は手洗い及びうがいを十分に行なって下さい。
- ◎製品の性質上、開封後は徐々に劣化します。なるべく早く使い切して下さい。
- ◎製品を別の容器へ移したり、転倒又は落下させたりして衝撃を与えないで下さい。
- ◎子供の手の届く所に置かないで下さい。

※裏面も必ずご確認下さい。

ご使用いただくにあたり、必ずこちらもご確認ください。

【マイクロファイバークロスについて】

◎ 付属のマイクロファイバークロス以外をご使用される場合は、親水化処理の施されていないものをご使用下さい。親水化処理を施しているクロスは、本液と反応し可燃性ガスが発生する可能性がありますので使用しないで下さい。

【保管方法】

1. 未開封商品の保管について

- ◎ 保管の際は密栓し、換気の良い乾燥した冷暗所に保管の上、高温物に近づけないで下さい。
- ◎ 冷蔵保管の場合は、冷蔵庫から取り出して使用する前に必ず室温に戻し、結露が消失してから開封して下さい。（結露した水分との接触を防止するため）
- ◎ 商品到着後 1 年以内にご使用下さい。
- ◎ 長期間保管しますと、瓶内に可燃性ガスが充満し、再開封・瓶の破損等の際に発火の可能性がありますので危険です。
- ◎ 子供の手の届く所に置かないで下さい。

2. 開封後の商品の保管について

- ◎ 品質保持及び安全性確保の観点から、開封後は一度に使いきって頂くことをお勧め致します。
- ◎ 使用後に再度保管する場合は、必ず容器内を乾燥窒素で十分に置換して残存空気のない状態で密栓し、保管方法に従って保管して下さい。

【廃棄方法】 廃棄の際は法令に従い、中身を使い切ってから廃棄処理して下さい。

1. 空瓶の処理について

- ◎ 使用した空瓶は、ポリシラザンが壁面に付着しており、そのまま放置致しますと、空気中の水分と反応し、可燃性ガス発生可能性がありますので危険です。
- ◎ 使用後の空瓶は、使用終了後、直射日光が当たらず火気の無い場所で、かつ換気の良い屋外へキャップをせずに1日以上置き、瓶内の有機溶剤が蒸発し乾燥した状態を確認してから廃棄処理して下さい。

2. 使用後のマイクロファイバークロスと残った本液の処理について

- ◎ 残った本液を使用後のマイクロファイバークロスに染み込ませ、直射日光が当たらず火気の無い場所で、かつ換気の良い屋外へ密閉せず 1 日以上置き、有機溶剤が蒸発し乾燥した状態を確認してから廃棄処理して下さい。
- ◎ 袋を密閉すると袋内でシランガスが充満し、発火の恐れがありますので、十分ご注意ください。
- ◎ 本液は酸・アルカリとも反応します。他の廃液・吸湿性の高い溶剤との混合は厳禁です。

【応急処置】

吸入した場合	直ちに使用を中止し、新鮮な空気のある場所へ移動し呼吸しやすい姿勢で休息して医師による診断と医療処置を受けて下さい。
皮膚に付着した場合	直ちに石鹸及び水で洗い流し、付着した衣類・靴などを速やかに脱いで下さい。刺激が続く場合は速やかに医師による診断と医療処置を受けて下さい。
目に入った場合	直ちに大量の清水で数分間よく洗い流し、速やかに医師による診断と医療処置を受けて下さい。
飲み込んだ場合	無理に吐かず、口をすすいで速やかに医師による診断と医療処置を受けて下さい。
こぼれた場合	保護具を着用して適切に処理して下さい。

火気厳禁

要冷暗所

第四類 第二石油類 (非水溶性) 危険物等級 III

